

日本と中国のあいさつ習慣と呼び方の比較

Comparison of Greeting Custom between Japan and China

ワン ユンジャ

Wang, Yunjia

82-271 Intermediate Japanese I

私のトピックは、あいさつ言葉で、私は中国出身だから、日本と中国のあいさつ言葉を比較する。あいさつ言葉については、教科書の読み物や会話で勉強し、授業中に

グループでディスカッションした。また、スピーキングアシスタントの増田さんに、日本のあいさつ言葉について質問して教えていただいた。

日本人は、誰にあいさつしているのかによって違う言葉を使っているようだ。普通に、日本人はあいさつをしたら、よくお天気の話をするが、親しい人にあいさつする時に、お天気の話じゃなくて、個人的なトピックをもっと話す。そして、日本では、同じ日に二回目に会った人には、もう一度あいさつをせずに会釈する。でも、スピーキングアシスタントによると、親しい人だったら、いつもあいさつするようだ。それ以外、ライン(オンラインチャット)を使う時に、日本人はよく「元気?」と「なにしてるの?」のように簡単なあいさつをするようだ。でも、スピーキングアシスタントによると、ラインを使う時に、相手はよく親しい友達だから、あいさつをしなくてもいい。ところで、話す時に、相手の呼び方も大切だと思う。日本では、普通、姓「さん」を使って相手を呼ぶ。そして、スピーキングアシスタン

トによると、友達だったら、さんを使わないで、「くん」や「ちゃん」を使う。もっと親しい人に、例えば恋人と話す時に、よく名前を使うそうだ。それ以外、家族では、父母は名前で子供を呼んで、子供はタイトルで父母を呼ぶ。そして、妹や弟は姉や兄をタイトルを呼ぶが、姉や兄は妹や弟をタイトルでなく、名前で呼ぶ。最後に、日本語は中国語にないあいさつ言葉や決まり文句がある。例えば、中国語でも、確かに「いただきます」や「ごちそうさまでした」に当たる言葉があるけれども、ご飯を食べる前にそんな言葉を話す習慣がない。

中国語は、日本語ほど決まり文句が多くないと思うので、日本語と中国語のあいさつ言葉は違う。中国人は、あいさつをしたら、日本人と同じく、よくお天気の話をするけれども、食事のこともよく話す。親しい人だったら、個人的なトピックと食事のことを話す。私の意見では、これは日本人と大体同じだ。そして、中国では、日本と違い、知っている人に会ったら、一日に二回目でもあいさつをする。でも、親しくない人にあったら、私はあいさつをしないで、会釈するだけだ。そして、中国人では、オンラインチャットを使う時に、あいさつをしないと思う。特に親しくない人と話す時には、相手の時間を節約するために、あいさつをしないで、目的を話す。でも、親しい友達や家族とオンラインチャットで話す時に、よく「なにしてるの」とようにあいさつをする。中国では、目上の人を呼ぶ時に、姓とタイトルを使わなくてはならない。友達や恋人と話す時に、ニックネームを使って呼ぶ。この2つ習慣は日本人と同じだ。でも、他の人を呼ぶ時に、普通、フルネームを使ってもいい。これは日本人と全然違うと思う。中国語では、「くん」や「ちゃん」とように呼び方がない。私の意見では、日本語の人の呼び方より、中国語の人の呼び方は会話の双方の関係を表現できない。そして、家族では、父母は名前で子

供を呼んで、子供はタイトルで父母を呼ぶ。でも、子供は父母を名前で呼んで、父母を子供をタイトルを呼ぶ家族もあると思う。それから、兄弟の間に

名前とタイトルとどちらでもいいと思う。家族の呼び方では、日本のより、カジュアルだと思う。

結論として、中国人と日本人は同じで、誰にあいさつしているのかによって違う言葉や呼び方を使う。親しい人と親しくない人に使っている言葉や呼び方は違うと思う。でも、あいさつ言葉と呼び方それ自体は、中国語と日本語は同じじゃない。